

第4回ニンビーツアー開催

3月21日、天候は曇りでしたが、見学中は降雨もなく予定通りに実施されました。今回は大津市北部途中町の汚染土壌処理施設・競走馬育成施設（建設中）・残土処分場・資材置き場等4か所を見学しました。その後、和邇公民館でH先生のスライドによる講演や参加者から過去の経験等話をもらい、大変有意義な学習・交流会となりました。（*NIMBYとはNot In My Back Yardの頭文字：社会にとって必要な施設かもしれないが、近くにあっては困る迷惑施設のこと）。



大津市北部には、15箇所以上のニンビーと言われる迷惑施設が存在します。左の施設は伊香立途中町の施設で、採石処理場、産廃中間処理施設、土壌汚染処理施設が一箇所に集中し、1日数百台のダンプカーの出入りがあります、

伊香立中学校裏に3年前から造成中の競走馬育成施設。造成中で川や琵琶湖に濁流が流れ出ます。ウッドチップや糞尿による汚水流出も心配されています。5ha以上の面積で、環境アセスがきちんと行われているのか心配されます。



湖西道路和邇インター近くの産業廃棄物埋立跡地ならびに資材置き場が有る東側です。鉄条網と監視カメラが設置されていますが、フェンスの右側に里道があり、途中でゲートで塞がれており、市の路政課が調べています。

比叡山大霊園横の土砂不法投棄現場で、大津市による行政代執行が実施された場所です。現場から流れ出る地下水が異常なほど赤みがかっていました。

